

大正十五年五月廿五日印刷
大正十五年五月三十日發行

【定價金貳圓】

實演お話集
(第九卷)

著者

東京高等師範學校内
大塚講話會

發行者

東京市京橋區南鍋町二丁目一番地
隆文館株式會社代表者

印刷者

星島二郎
東京市京橋區弓町十番地
福神上太郎

東京市京橋區南鍋町二丁目一番地

發行所

隆文館株式會社

振替東京八五三 電話銀座二二四一

東京高等
師範學校

大塚講話會同人著

定價各二圓 送料各十二錢

新實演お話集

四六判約四百頁
洋布極上裝函入

第一集 蓮 娘 立川昇藏作

第二集 猫の卵 檜葉 勇作

大塚講話會は、創立十餘年になり、初期の先輩會員は、今や斯道の大家になつてをられます。隆文館では、今度これらの大家にお願ひして、新にこの叢書を發行することになりました。今度は「實演お話集」と違つて、各卷著者別にすることにいたしました。葛原しげる先生、下位春吉先生、岩田九郎先生、山北清次先生等の分も續出いたします。

東京高等
師範學校

大塚講話會著

定價各二圓 送料各十二錢

實演お話集

四六判各四百頁
クロス上裝函入

本書は東京高等師範學校の先生方と生徒達が、心理や教育の方面から、お話の創作と仕方の研究を目的に組織して居る、大塚講話會の編著ですから、本書のお話は先づ第一に、何れも絶対に安心の出来るお話ばかりです。次に本書のお話は、講話會の會員が、實地に何度も話して見て、よく練り上つたものを書き下したものですから、直ぐそのまゝお話に話すことが出来ます。普通の童話書は、話す爲に書いたものでありませんから、そうは行きません。のみならず本書のお話は、一つ一つに仕方の上の詳しい注意が附してありますから、本書によれば誰でも上手にお話が出来ます。第一卷尋常五六年向き、第二卷同上、第三卷尋常三四年向き、第四卷同上、第五卷尋常一二年向き、第六卷幼稚園向き、第七卷青年處女向き、第八卷同上、第九卷話方の研究。

東京高等
師範學校

大塚講話會撰

定價各一圓八十錢送料各十錢

懸賞實演お話

四六判上裝函入
各約三百五十頁

實演お話集の姉妹篇

本書は大塚講話會が、一千圓の賞金を懸けて全國の教育者から募集した、實演お話の入選作を纏めたものです。實演お話とは、お話を話す爲の臺本でありまして、讀む爲に出來てゐる普通のお話と少々違ひます。お話を話す爲の臺本ですから、話し方の注意も附してあり、第一話すに都合よく出來てゐますから、本書によれば、誰でも上手にお話が出来ます。お話の下手な教育者が、教育者として成功した例がありません。本書を見ると、お話の上手な教育者の苦心がよく分ります。第一輯と第二輯が出來てゐます。

文學士 青木武助著

定價各八圓 送料各二十四錢

大日本歴史集成

菊判背革裝
上中下三卷
三千五百頁

本書は、本文の各項に古今の典籍から考證に必要な引用を豊富に附して研究の便に資してありますから、本書一部を備へると、國史研究上實に數百卷の参考書を備へたと同様な便宜があります。本書は又、本文に出て來る人物の小傳を作つて附してありますから、事件の背景が徹底的に分ります。地名に對しても同様な注意を用ひて、今日の縣郡町村名を註記し、關係事實を詳細に記述してあります。これは他の歴史書にはないことで、學習上非常に便利であります。本書は又、史上の人物の作つた詩歌等は勿論、後世の人の手に成つたものをも収録し、時には狂詩狂歌等にも及び、又必要ある場合には謡曲淨瑠璃等からも拔萃して、讀者をして乾燥無味の史實に倦ましめない工夫をしてあります。

文學士 青木武助著

定價各九圓 送料各二十四錢

續大日本歴史集成

菊判背革裝函入
上下二卷三千頁

大日本歴史集成は、神代から筆を起して、徳川幕府の末期に終つてゐますが、本書はその後を承けて、幕末尊王論の勃興から現代に及び、我々に最も興味ある時代を、非常に面白く記述してあります。著述の體裁は、大日本歴史集成と同様であります。

大日本歴史集成 上卷 神代より平氏の滅亡まで

同 中卷 鎌倉幕府の初めより豊臣秀吉の薨去まで

同 下卷 關ヶ原の役より徳川幕府の末期まで

同 續大日本歴史集成 上卷 尊王論の勃興より戊辰の役まで

同 下卷 明治の新政より現今まで

角田政治著

定價 上卷六圓五十錢 送料各二十四錢
下卷七圓五十錢

最新世界地理集成

菊判洋布裝
上下二卷
一千七百頁

我國で一番詳しい世界地理書

歴史集成と同様に、本文に添ふるに澤山の参考記事を以てした點が特色です。我國で出版された世界地理書中最も詳細なもので、本書によつて文檢試験を突破した受験者は何千人とあります。

上卷は亞細亞州及び太洋州を、下卷は歐羅巴、阿弗利加、南北亞米利加の三大州を取扱ひ、寫眞版、原色版、地圖を澤山つけてあります。

醫學博士 高田義一郎著

定價二圓 送料十錢

優良兒を儲ける研究

四六判美装
口繪付函入

賢き子は父を欣ばし、

愚なる子は母の憂へなり。 — 箴言 —

かう申しますが、優良な子供を儲けることは、親の歡喜と子供自身の幸福のみに止まらず、延いて社會人類の福祉であります。これに反して劣悪な子供は、家庭の悲嘆であり、社會の重荷であります。

本書の著者曰く、「此の小冊子は優良な子供を儲けたいと欲する人々の爲に、必勝を期し得る好果を擧げるのに、必要な點を會得して貰はうとして書いた基礎篇である、育兒問題の先天論である。」

文學士 木村久一著 定價二圓五十錢 送料十二錢

早教育と天才

四六版四百頁
羽二重裝函入

英才教育の指南書

我子を英才に育て上げやうと思ふ親の是非讀まねばならぬ參考書

緒言

第一章 早教育は英才を造る

第二章 キツテの教育

第三章 トムソン兄弟、ミル等の教育

第四章 天才は如何にして生ずるか

第五章 サイデイス博士の教育説

第六章 パール博士の教育法

第七章 ストリーナー夫人の教育法

結語

附録 學校の成績を悪くする諸原因、其他

三浦 關造 譯

定價二圓三十錢 送料十二錢

ソルト エミール

四六判函入
羽二重上装

教育者の經典

ルツソーの『エミール』は、教育者の經典であります。『エミール』を読まないで、教育に従事する人がありましたら、それは非常な無謀であります。無謀といふよりは寧ろ罪惡であります。ルツソーは近代思想の父でありまして、教育上の新思想も彼に淵源してゐます。實に『エミール』は、凡ての教育者の座右にしなければならぬクラシックであります。

田中友一・小櫃貞治共譯

定價二圓五十錢 送料十二錢

家庭 三 家庭

四六判函入
羽二重上装
玻璃版繪入

有名なフアラード博士の家庭小説『スリー・ホームズ』の新譯です。譯文は篠田東京高師教授の嚴密な校閲を経ましたから、極めて確かです。
篠田教授の序文から――

「原作が初めて世に出た時は、作者の名は變名が用ひてあつて、誰の作だか薩張り分りませんでした。が、學生や家庭の間に非常な好評を博して、その賣行は二十餘年を過ぎて、一向に衰へませんでした。初版が出てから二十三年目に、初めて原作者の名前が公表されたのですから、作者の名譽を離れて、書物自身にどの位讀者を引付ける力があつたかゞ分るではありませんか。……」

住田 章 著

定價一圓二十錢 送料八錢

學校中學時代

四六版約三百頁

著者の序文から――

「この小説は、有名なフアラ―博士の學校小説『エリック』を翻案したものです。御覽の通りこの小説は、一少年のだん／＼墮落して行く経路を書いたもので、餘り明るい小説ではありません。併しよく読んで見ると、非常に教へられる小説です。御承知の通り青春期は、云はゞ人間の脱皮期で、非常にクリチカルな時代です。この時代の少年は、特徴として精神の均齊が缺けて居て、一寸した機會からぐれ出し易く、その指導教育に當る父兄や教育者が、彼等の精神の働き方をよく心得て居ないと、取り返しのつかない事になることが少なくありません。この小説は、青春期の少年の心理を巧みに寫し出して居る點に於いて、非常に價值のあるものだと思ひます。」

六高師範
五段

金光彌一兵衛著

定價二圓五十錢 送料十二錢

新式柔道

菊判洋布裝函入
説明寫眞百餘枚

本書は、著者が二十年の體驗を經とし、科學的研究を緯として、斯道を初めて系統的に講述せるもの、傳來の祕法を大膽に公開したるは勿論、著者自身の工夫による新法をも餘すところなく發表したれば、初心者之教本として絶好なるのみならず、専門家をも裨益すること甚大なるべきを確信して疑はず。敢て薦む。

内容一斑――第一章總論、第二章初心者之手解き、第三章初心者より四段迄階級によつて學ぶべき業の順序、第四章修業の方針、第五章作り方(崩し方)、第六章授業説明、第七章業の聯絡變化、第八章固業に行く迄の動作、第九章固業説明、第十章裏業(返し業)、第十一章試合方法、第十二章型の名稱及成立

理學博士 三宅驥一・理學博士 草野俊助共譯

ストラスブルガー植物學

定價各三圓五十錢
送料各 十二錢

第一冊形態學 第二冊生理學 第三冊隱花植物

本書は、獨逸植物學界の泰斗、ストラスブルガー博士外三碩學が、大學の講壇に於ける多年の經驗に基づき、大學用教科書として編纂したもので、生理、形態、隱花、顯花の各部に亘り、記述の繁簡甚だ宜しきを得た、植物學書として他に匹儔を見ない好著であります。今や歐米各國語に翻譯されて、世界共通の最高植物學教科書となつてゐます。譯者三宅博士は、親しくス博士に就いて植物學を專攻された篤學の士、歸朝の際本書を齎らし來り、拮据數年の努力によつて、邦語に譯出したのであります。譯文精確、妥當、流暢、邦語の植物學書中嶄然として頭角を抽づるものであります。

神宮皇學館 教授文學士 鈴木暢幸 著 定價二圓五十錢 送料十二錢

伊勢神宮

四六倍大判函入
ポブリン極上裝

一生に一度は伊勢參宮をしたい。若し出来れば何度もしたい。日本國民は誰しもかう思つてゐることは、伊勢參宮者が年々増加する一方であるのを見ても分ります。併し世間には、伊勢參宮の希望はあつても、いろ／＼な事情からそれを果すことの出来ない人が澤山あります。本書はさういふ人の爲に書かれたものです。職掌柄伊勢神宮のことに最も委しい鈴木文學士の著ですから、内容が絶対に正確なことは申すまでもありません。又神域内の細密な地圖もあり、兩宮を初め重要な箇所は、残らず精巧無比なグラビヤ寫眞版で示してありますから、本書を見ると、居ながらにして伊勢參宮をしたと同様であります。

校學範師山青府京東

編校學小屬附

小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常	小尋 學常
國語	算術	理科	地理	修身	裁縫	圖畫	國史
教授	教授	教授	教授	教授	教授	教授	教授
細目	細目	細目	細目	細目	細目	細目	細目
近刊	近刊	近刊	近刊	近刊	送定 料價	送定 料價	送定 料價
					四 四〇	一、三 八〇	八 六〇

501

239

終